

## 板ジャッキ取り扱い説明書

1. 板ジャッキを切断溝に入れる。(その際溝の一番奥まで入れる。もし奥まで入らない場合は 18 ドリル等でパイプ穴を開け奥まで入れます。)
2. ポンプ圧力調整弁を圧力 0 Mpa ( 0 kg/c m<sup>2</sup> ) まで戻っているかを確認します。
3. エンジンを始動、バルブ(コック)を開けアイドル回転より少し高い回転にセットし(中速以下で充分です)ホースのエア抜きを行いバルブを閉める。
4. 板ジャッキにホースを接続する。
5. 圧力調整弁を序々に開ける。
6. 板ジャッキが拡張し、コンクリートに溝が入ったらすぐにコックを閉める。(そのまま水を送りますと溝が 10~40mm 程度開いた状態で板ジャッキは低い圧力でパンクします。溝が 10mm 以上幅が広がった場合の板ジャッキの耐圧は 50kg/c m<sup>2</sup>以下となります。)  
板ジャッキを 10mm 以上拡張させたい時は 1000 サイズで 33 t、500 サイズで 16.5 t 以下の拡張力となります。(圧力 50kg/c m<sup>2</sup>時)
7. 作業完了。

### 危険、警告：

板ジャッキがパンクする際、水が飛び危険ですので充分安全な距離を取って作業をして下さい。

コンクリート躯体等が倒れたり、落下する可能性もありますので作業には充分注意を払い、危険区域には入らぬよう作業して下さい。

拡張した溝には危険ですので手、足等を絶対に入れないようにして下さい。

本製品はコンクリート破壊用具ですので、ジャッキではありませんので、ジャッキとしてのご使用はお避け下さい。

### 安全に作業を行って頂く為のご提案

溝が拡張する際、安全に留意しクサビ等を打ち込みながら作業を行うと効率的に作業が行えます。

鉄筋等有る場合、鉄筋はコンクリートからズレ込み、鉄筋をガス溶断する等の作業が必要となります。その際爪付ジャッキ(別売)を併用しますと溝を大きく開く事が出来、効果的に作業が出来ます。

板ジャッキを溝から引き抜く際、板ジャッキ用スライディングハンマー(別売)を使用しますと、簡単に引き抜く事が出来ます。

板ジャッキを溝の奥まで入れた場合の専用カプラー外し工具(別売)を使用しますと、奥まで入れたカプラーを簡単に取り外せます。

# ◀クライム

〒146-0081 京都大田区仲池上1丁目29番3号

: 03-3753-2014

fax : 0-3753-2229

URL : <http://home.catv.ne.jp/kk/climb>

E/mail : [climb@ma.catv.ne.jp](mailto:climb@ma.catv.ne.jp)